葛尾村住民意向調査 調査結果 (速報版)

復興庁 福島県 葛尾村

調査の概要

1. 調査対象:世帯の代表者(438世帯)

2. 調査時期: 令和5年9月19日~10月9日

3. 調查方法:郵送配布、郵送回収

4. 回答者数: 208世帯(回収率47.5%)

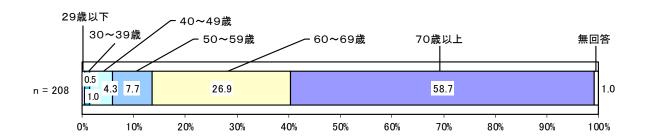
(一昨年度の回収率:61.1%)

調査結果(速報版)の見方

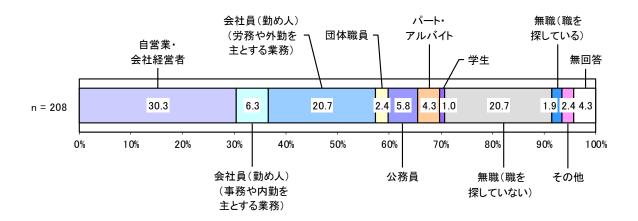
- •「n」とは、質問に対する回答者数であり、100%が何世帯の回答に相当するかを示すものである。
- 回答の構成比は百分率をあらわし、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の 比率を合計すると 100%を超える。

回答者の属性・状況

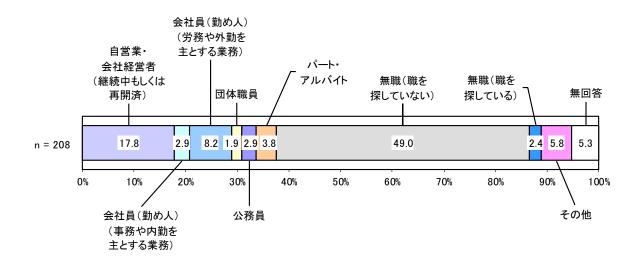
1. 年代



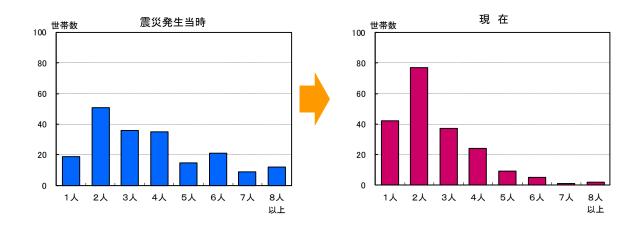
2. 震災発生当時の職業(就業形態)



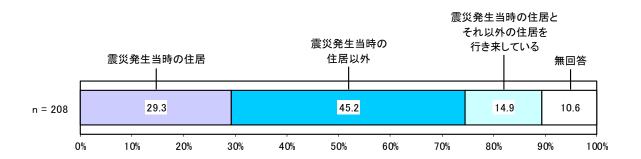
3. 現在の職業(就業形態)



4. 世帯人数

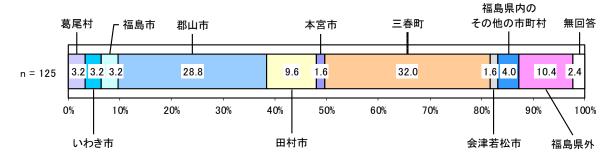


5. 現在の住まい

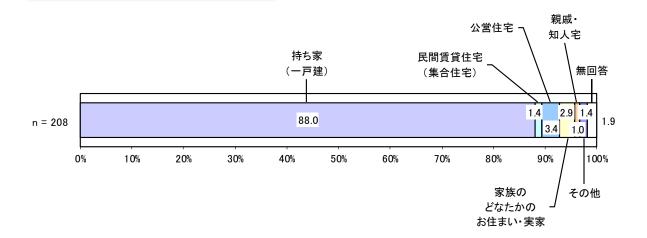


6. 現在の居住自治体

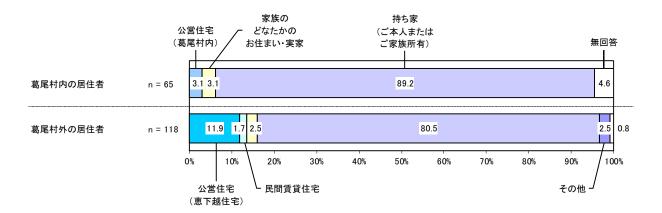
※〔5. 現在の住まい〕で「震災発生当時の住居以外」「震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」 と回答した方のみ



7. 震災発生当時の住居形態



8. 現在の住居形態

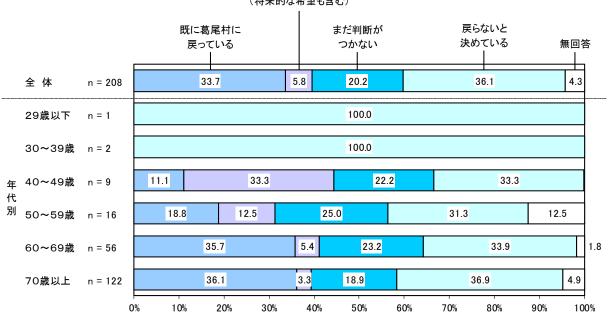


調査結果

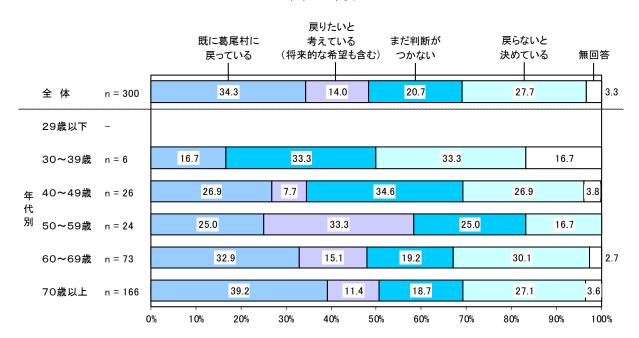
1. 葛尾村への帰還意向

< 令和5年度 >

戻りたいと 考えている (将来的な希望も含む)



く 令和3年度 >



2. 葛尾村への帰還を決めた理由

※〔1. 葛尾村への帰還意向〕で「既に葛尾村に戻っている」と回答した方のみ ※複数回答可

葛尾村での生活は気持ちが安らぐから

農地等の管理・耕作のため

放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ払拭 されてきたから

友人・知人等が村内に多く居住しているから

勤務先が近いから

見守りパトロールなどにより安心して生活できると 判断したから

商業施設が開業しているから

医療機関(診療所)が開業しているから

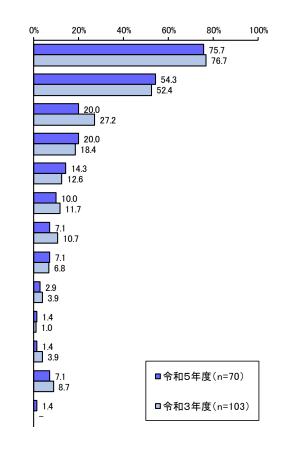
公共交通機関が回復してきているから

公営住宅・居住環境が整備されたから

保育・教育環境が整備されているから

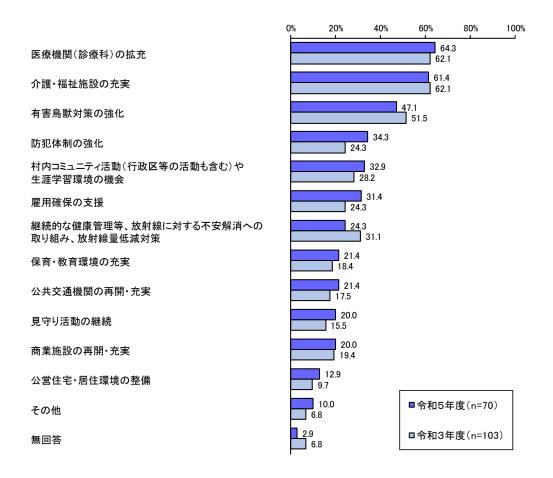
その他

無回答



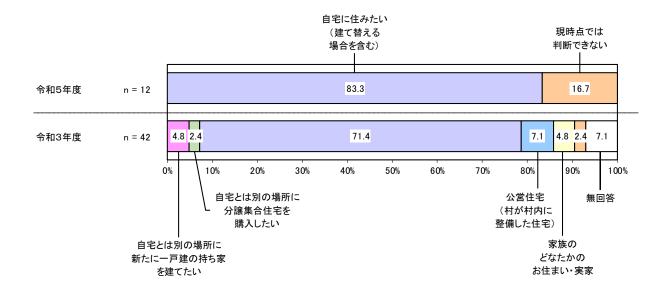
3. 葛尾村での今後の生活において必要な支援

※〔1. 葛尾村への帰還意向〕で「既に葛尾村に戻っている」と回答した方のみ ※複数回答可



4. 葛尾村へ帰還した場合に検討する住居形態

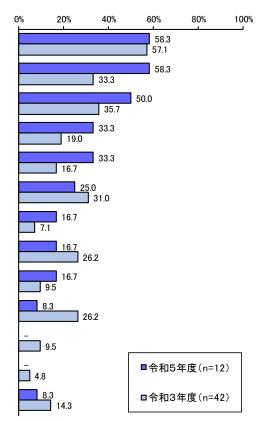
※〔1. 葛尾村への帰還意向〕で「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方のみ



5. 葛尾村に帰還する場合に必要な支援

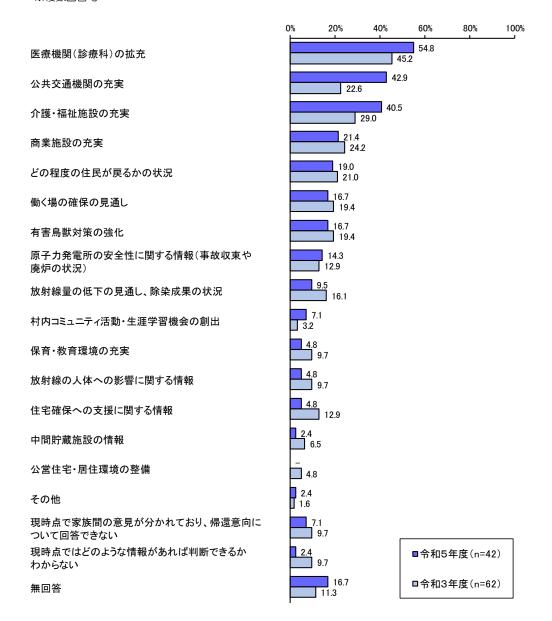
※〔1. 葛尾村への帰還意向〕で「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方のみ ※複数回答可

医療、介護福祉施設の再開や新設
公共交通機関の充実
商業施設の再開、充実
雇用確保・就業サポート
村内コミュニティ活動・生涯学習の機会
子ども・高齢者等に対する見守り活動の充実
教育、保育環境の整備
更なる防犯防火対策の強化
帰還困難区域の早期復興
更なる放射線量の低減
放射線リスクコミュニケーションの充実
その他
無回答



6. 葛尾村への帰還を判断するために必要なこと

※〔1. 葛尾村への帰還意向〕で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ ※複数回答可



7. 葛尾村への帰還についてまだ判断がつかない理由、帰還しない理由

※〔1. 葛尾村への帰還意向〕で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ ※複数回答可

